長沼地域西部エリアオンデマンド交通実証運行事業（福島県須賀川市）

買い物・福祉×交通

国土交通省

事業実施主体

【共創プラットフォーム】
長沼地域西部エリア共創プラットフォーム
【実施主体】須賀川市
【共創パートナー】福島交通株式会社（交通）
長沼観光タクシー合資会社（交通）
協同組合ながぬまショッピングパーク（小売）
社会福祉法人岩瀬福祉会（福祉）

地域課題

長沼地域は、市中心部から離れた郊外エリアとなっている。
幹線の路線バス以外の公共交通機関がなく、バス停までも距離がある交通不便地域である。

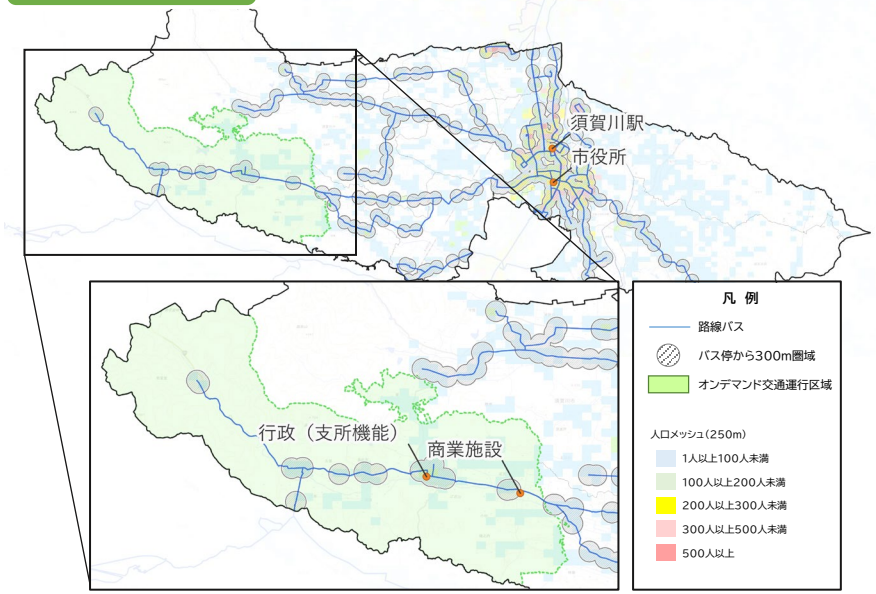
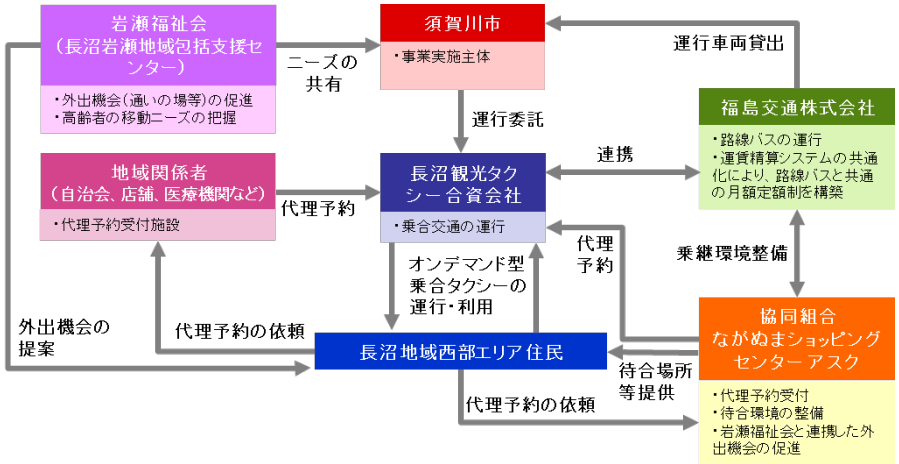
実証事業の内容

複数の交通事業者と、福祉事業者や商業者という他分野の主体と連携・協働し、エリア内におけるAI配車システムを導入したオンデマンド型乗合交通の運行を実施する。
オンデマンド型乗合交通と路線バスの決済方法の共通化による月額定額制や商業者と連携した代理予約受付、待合環境の整備などを行い、公共交通ネットワークのリ・デザインを図る。

今後の展開

- 令和７年度以降の本格運行を目指す。
- 運行経費のうち収入で賄えない部分は市で負担するが、負担額の平準化を月額定額制により行う。
- AI配車システムにより効率的な運行体制を実現し、運行エリア拡大と拡大に伴う経費増のバランスを最適化していく。
- 福祉分野との連携により介護予防効果を創出し、要介護認定率の低下や介護保険使用料の減少というクロスセクター効果を事業維持にあたっては踏まえていく。

事業実施区域



事業体制